

第143回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月27日（水）11:00～11:14
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（26日）の新規陽性者数は1,455人でした。

日曜日24日を除いて今月20日から1,000人を上回る日が続いておりましたが、過去最高を更新しました。

次に、4ページ。7月26日現在の療養者の状況です。

入院者が362人、うち重症者が1人となっています。

入院者数は、7月19日以降、300人を上回っております。療養者数は、合計で9,901人となり、20日以降、7日続けて過去最多を更新し続けております。

また、自宅療養者数は8,098人、こちらも過去最多となっております。

次に、6ページ。人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数439.08人。

7日続けて過去最多を更新し続けております。

次に、8ページ。

病床使用率48.3%、レベル3の基準である50%を再び下回ったものの、引き続き高い水準で推移しております。

次に、10ページ。

人口10万人当たりの療養者数540.11人。こちらも7日続けて過去最多を更新しております。

次に、13ページ。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

須賀川市が696.07人、白河市も600人に近づいているほか、福島市、郡山市が500人を超えており、各市とも高い水準となっております。

次に、14ページ。

保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

本宮市、二本松市、田村市、こちらが400人を超えたほか、喜多方市、相馬市は400人に近づいており、伊達市も300人に近づいております。

次に、15ページ。

モニタリング指標です。

「入院率」(3.7%)、「人口10万人当たりの療養者数」(540.11人)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(439.08人)、

25日の数値になりますが、「PCR陽性率」(34.0%)が、レベル3、

「病床の使用率」(48.3%)、

25日の数値になりますが、「感染経路不明者の割合」(73.2%)が、レベル2、

「重症者用の病床使用率」(2.2%)、が、レベル1となっております。

次に、17ページ 資料3。

感染者の療養対応について、健康観察の重点化を行うことといたしましたので御報告します。

第6波を大きく上回る規模で感染者が急増していることから、オミクロン株の特性を踏まえ、医療の負担に直結する高齢者等の重症化リスクのある方を守ることに重点を置いた対策を確実に実施していく体制といたします。

具体的には、65歳以上の方、及び65歳未満の重症化リスクのある方に対して重点的に健康観察を行うとともに、それ以外の方に対しては、体調が悪化した場合に随時相談に応じ必要な支援をまいります。

ひきつづき、感染された方が安心して療養できるよう、健康観察や必要な医療の提供と、生活の支援に取り組んでまいります。

次に、18ページ 資料4。

第7波の感染拡大に伴い、過去最大規模で検査需要が急拡大しており、医療機関への受診集中により必要な方への医療提供が困難になる事態を避けること及び、感染の早期探知により感染拡大の抑制を図ることを目的に、濃厚接触者と有症状者が自ら検査を行っていただけるよう、「福島県新型コロナ検査キット配布センター」を設置し、無償で検査キット

を配布することといたします。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

19ページ、資料5をご覧ください。

【資料3】

1 接種実績ですが、7月25日時点で、3回目接種の回数が、1,291,198回、全人口に対する接種率は69.3%となっております。

資料中段の囲みの部分、7月末累計の対象者、約153万2千人に対する3回目の接種率は84.3%となっております。

また、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が39.0%、2回目が36.0%となっております。

なお、4回目の接種回数は132,994回となっております。

4回目の接種率について、資料にはございませんが、対象者のうち、人数の把握が可能な60歳以上の方で7月末までに接種の順番を迎える約33万人を母数とした場合、その接種率は40.3パーセントとなっております。

次のページの中段をお願いします。

4回目接種につきまして、先週の会議でもご説明しましたが、新たな対象者として、医療機関・高齢者施設等の従事者が加わっております。

また、資料にはございませんが、各市町村においては、1回目～4回目接種、小児接種をそれぞれに実施しております。

加えて、県の取組として、7月に続いて8月にもノババックスワクチンを用いた1回目～3回目接種を実施いたします。

重症化予防やこれ以上の感染拡大を防ぐため、引き続き、ワクチン接種がお済みでない方に速やかに接種いただくよう、市町村と連携し、しっかりと取り組んでまいります。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

昨日、クラスター対応で県内の介護施設にお伺いをしてきました。

施設でありますので、高齢の方が当然多いわけですが、3人ぐらい入院させたほうがい
いだろうという方がいらっしゃいました。

入院の調整を行政の方をお願いをしたわけですが、一部はやはりすぐには対応出来な
いということになりました。

現在、県内の病床利用率は50%より下であります、でも実際はもう既に苦しい状況
は始まっているということをぜひ知っていただきたいと思います。

これは「介護施設頑張れ」とか「病院頑張れ」というような話ではありません。

こういった施設も職員そのものが感染しながら、よく本当に頑張っていると思います。

これは当たり前ですが、世の中全部つながっていますので、感染者が多くなった、その
しわ寄せといいますかその結果が、こういう状態に追い込んでいると考えてございます。

ぜひ県民の皆様には、ぜひ御協力をお願いしたいと思います。

(知事)

はじめに、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力をいただいている医療関係者の皆
様に、深く敬意と感謝の意を表します。

また、感染拡大防止のため、県民の皆様、事業者の皆様には、継続して御尽力を頂いて
おります。本当にありがとうございます。

全国では、先週(23日)、1日当たりの新規陽性者が20万人を超え、その後も多くの
都道府県で過去最多を更新するなど、感染の急激な広がりが続いています。

本県においても、1日当たりの新規陽性者数が、前の週の同じ曜日の2倍を上回る日が
多く、本日(27日)は、これまでで最多となる1,455人の新規陽性者を確認しまし
た。

また、クラスターの発生件数も今月に入って急増しており、26日現在で、6月と比較
をして2.5倍となっています。発生場所については、6月は児童施設、学校といった子
ども関連施設でおおよそ7割を占めていましたが、今月は、クラスターの発生が多様化し
ており、あらゆる場面で感染が拡大しています。

さらに、オミクロン株BA.5系統への置き換わりが急速に進んでおり、今月18日か
ら24日までに行われたゲノム解析では、感染者に占めるBA.5系統の割合が47%と

高まってきています。

現在では、更に置き換わりが進んでいる可能性があることから、新規陽性者数は今後も増加が続き、医療体制も更にひっ迫していくおそれがあります。

こうした状況を踏まえ、先週（20日）、「福島県感染拡大警報」を発出しています。

夏休みに入り、旅行やイベント等に参加する機会も増えることと思います。新規陽性者の発生を抑制し、社会機能を維持するためにも、改めて「基本的な感染対策の再点検と徹底」をお願いします。

まず、場面に応じて、マスクを正しく着用してください。

屋外のような人と人との距離が確保できる場面では、マスク着用の必要はありませんが、屋内で人との距離が確保できない場面や、特に会話を行う際には、マスクをしっかりと着用していただくことが重要です。

次に、密閉、密集、密接の3密や人込みの多い混雑した場面では、感染リスクが高まるため、なるべく避けていただきますようお願いします。

特に、普段会わない人と会う時は、より一層注意してください。

次に、のどの痛みやせき、発熱などの症状がある場合は、会食やイベントに参加しない、外出しないことを徹底してください。

少しでも症状がある場合は、他の方へ感染させないためにも、人と会わないようお願いいたします。

県民の皆様においては、御自身と大切な人の命を守るため、熱中症にも注意をしながら、感染対策に取り組んでいただくようお願いいたします。

旅行や帰省、飲食の機会など、多くの人と接する機会が増える時期です。現在のように、全県で感染が急激に拡大している状況においては、県民の皆様お一人お一人が感染対策に取り組んでいただくことが何よりも重要です。医療機関を始め、社会の機能を維持していくためにも、引き続き、強い危機感を持って、基本的な感染対策を徹底するようお願いいたします。

各部局、各地方本部、各保健所においては、常に緊張感を持って、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速、的確に対応を進めてください。